

宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画に係る調査について

1 調査の目的

本調査は、県民の歯と口腔の健康実態と生活習慣や歯科保健行動との関係性等を把握し、「第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」（計画期間：H30～H35年度）の取組状況及び各目標の最終評価並びに次期計画策定に向けた見直しに係る基礎資料とし、今後の歯科保健施策の推進に資するために実施するもの。

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
調査	目標 年度	第2期 基本計 画策定				▶ 評価	目標 年度

2 調査概要（案）

(1) 宮城県歯と口腔の健康実態調査

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 口腔診査及び自記式質問調査 県が対象者に調査票を郵送。対象者は歯科医療機関にて口腔診査を実施し、調査票を登録歯科医療機関に提出。県が調査票を回収し、集計・分析
実施時期	令和4年8月から11月
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 20歳～84歳までの男女（宮城県全域：約1,300人） 宮城県内に住民登録を行っている20歳から84歳までの住民について、5歳刻みの年齢ごとに各100名を市町村から無作為抽出
その他	調査結果の分析は、歯科口腔保健研究機関への委託により実施

(2) 幼児に関する歯科保健行動調査

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 自記式質問調査 県から市町村へ調査票を送付。市町村は3歳児健診のお知らせ送付又は健診時に保護者等へ「調査票」を配布して記入を依頼し、健診当日に回収。県が調査票をとりまとめ、結果を集計・分析。
実施時期	令和4年8月から11月
対象者	3歳児健康診査対象者の保護者等（宮城県全域：約1,000人）

(3) 老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所等における歯と口腔の健康づくり取組状況調査

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 自記式質問調査（みやぎ電子申請サービスからインターネットで回答） 県が対象施設へ調査協力依頼文を送付。対象施設は宮城電子申請サービスを利用してアンケートに回答。県が結果を集計・分析する。
実施時期	令和4年9月から10月（調査基準日：令和4年9月1日）
対象者	県内の老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所等（入所施設）（約700施設）

3 調査項目・様式（案）

(1) 調査項目の考え方

- 第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画の達成指標は調査必須
- 前回調査した項目は原則として維持し、結果の比較・分析に活用
- むし歯の要因分析のため、生活習慣に関する質問を追加
- 今後の施策検討に関する項目を追加

(2) 調査票案及び比較表

別紙のとおり